

トラック運転者の高齢化  
慢性的な人手不足

# 物流危機の到来！！

令和6年4月から罰則付き  
時間外労働の上限規制適用

あなたの会社の荷物は、もう、運べません

持続可能な物流を実現し、貴社の企業活動を守るために

トラック輸送の取引環境・労働時間の改善に向け、  
**荷主企業様のご理解・ご協力をお願いします！**

## トラック輸送の課題 と 荷主企業様へのお願い

### ①物流の効率化・生産性向上



【取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン】

- ・トラック運転者の長時間労働の背景には、業界特有の受発注ルールや荷待ち時間・荷役時間、検品などの附帯作業があり、トラック事業者のみでは解決が困難。
- ・国土交通省は、特に荷待ち時間が多い輸送分野である「加工食品、飲料・酒」、「紙・パルプ」、「建設資材」等を対象に、課題の洗い出しや解決に向けた打ち手を紹介するガイドラインを作成

ガイドラインには**荷主企業様**にとってもメリットとなる内容を掲載！  
**お願い①** 物流の効率化・生産性向上に向け、ガイドライン等も参考に、トラック事業者と連携した取組をお願いします！

### ②人件費、燃料費等の上昇コストの転嫁



【国土交通省HP(標準的運賃)】

- ・国は持続的に運送事業を行うための参考となる新たな「標準的運賃」を告示（令和6年3月）
  - ・しかしながら実勢運賃への反映は不十分
- ※運賃料金を不当に据え置くことは、下請法・独占禁止法に違反する恐れがあります。

**お願い②** 人件費や燃料費等の上昇コストを反映した適正な運賃・料金の見直しに向けトラック事業者との協議、燃料サーチャージ導入へのご理解をお願いします！

### ③荷主を含むサプライチェーン全体による物流の改善



【ホワイト物流ポータルサイト】

- ・物流改善のためにはサプライチェーン全体で関係者の連携協力が必要
  - (1)トラック輸送の生産性・物流の効率化
  - (2)女性や60代以上の運転者等も働きやすい「ホワイト」な労働環境の実現
- 上記2点に取り組む運動を官民挙げて推進！

**お願い③** 是非、専用サイトを通じて、**物流改善に向け「ホワイト物流」へのご賛同をお願いします。**



令和7年1月16日時点の賛同企業数：3028社

<お問い合わせ先> トラック輸送における取引環境・労働時間改善佐賀地方協議会 事務局

九州運輸局佐賀運輸支局  
佐賀労働局労働基準部監督課  
公益社団法人佐賀県トラック協会

0952-30-7271  
0952-32-7169  
0952-30-3456

国土交通省  
厚生労働省  
公益社団法人  
佐賀県トラック協会



CASE  
1

長時間のムダな荷待ち  
が常態化していた

課題

先着順での積込・積卸し

納品先で先着順での積込・積卸しが行われていた。  
一方で、納品先の荷受け処理能力やトラックバース数には限りがあり、特定時間帯に納品車両が日常的に集中。結果、長時間のムダな荷待ちが常態化。

方策

納品先が「予約受付システム」を導入し、  
物流事業者が活用

併せて、各トラックバースの荷役予定時間を  
事前設定する運用変更を実施

成果

・荷待ち時間、荷役時  
・納品先の庫内作業が

物流事業者は予約時刻を前提に運行できるように。  
これにより荷待ち時間が大幅に短縮。

**納品先も庫内作業の効率化が可能となり、時間あたり貨物取扱量が増加。荷役時間も短縮。**



CASE  
3

適切な配車を行える  
時間的な余裕がない

課題

時間的な余裕がなく、荷待ちが発生

荷主企業の受注締切直後から、物流事業者の配車業務を開始していた。  
このため、荷待ちの生じない適切な配車を行う時間的な余裕がなかった。

方策

荷主企業から物流事業者に、受注締切前に受注情報を共有

荷主企業から物流事業者に、受注締切前に確定前の受注情報（出荷情報）を事前共有し、物流事業者は事前準備を実施。  
これにより、物流事業者が余裕を持って適切な配車を実施できるように。

成果

・荷待ちの生じない配車の実現  
・荷主企業の作業も効率化

荷待ちの生じない適切な配車が可能となり、トラック運転者の拘束時間が短縮。  
**荷主企業も、荷待ちの削減により構内スペースの有効活用や混雑緩和が図られ、作業が効率化。**



CASE  
2

手作業での大量の貨物の  
積込・積降しが負担に

課題

手作業での大量の貨物の  
積込・荷降しが負担に

10トン車にレタスのバラ積み1,200ケース分（1ケース 7~10kg程度）のダンボールを手積み・手降していた。  
手作業での大量の貨物の積込・手降しは、トラック運転者にとって重労働。  
荷主企業にとっては、リードタイムが長くなる要因に。

方策

パレットの活用

パレットを使用するよう、物流事業者と発荷主・着荷主が調整。  
パレットの費用の負担や保管・返却方法について、関係者との間で合意。  
これを踏まえて、手作業からフォークリフトによる荷役作業に移行。

成果

・荷役時間が大幅に短縮  
・リードタイムも短縮

荷役時間2~3時間 ⇒ 20~40分に  
**全体的なリードタイムの短縮も実現。**



CASE  
4

夜間や早朝の積込み  
作業が発生していた

課題

夜間や早朝の積込み作業  
(リードタイムに余裕のない中での作業)

当日12時受注締切り ⇒ 翌日午前配達を行っていた。  
予測物流で荷役と配車を行うため、波動により作業が遅延し、積込み作業も夜間や早朝になり、出発も遅延することがあった。

方策

受注時間の前倒し、又は配車時間の  
後ろ倒しによるリードタイムの延長

当日12時締切 ⇒ 翌々日 午前配達（又は午後配達）に変更。  
受注時間の前倒し、又は配達時間の後ろ倒しにより、受注から配達までのリードタイムを延長。

成果

・夜間や早朝の積込み作業が減少  
・納品時刻厳守

リードタイムの延長により、夜間や早朝の積込み作業が減少し、トラック運転者の拘束時間が短縮。

**荷主企業も、出発遅延が解消され、顧客に提示した納品時刻を遵守できるように。荷役作業スタッフの労働時間も短縮。**